

# 公益社団法人福岡県シルバー人材センター連合会 令和2年度 事業報告

## 第I 概要

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症（以下「新型コロナウイルス」という。）の感染拡大防止のため、学校の一斉休校が行われている中で始まった1年でした。その後の感染拡大に伴い、人と人との接触機会の最低7割、極力8割削減との呼びかけとともに、国により緊急事態宣言が発令されると、外出自粛や企業等の在宅勤務の実施などにより街の風景は一変し、シルバー人材センター事業（以下「シルバー事業」という。）につきましても、施設管理業務の休止や縮小、受注先の事業縮小に伴う休業の発生、入会説明会の休止など、大きな影響がありました。

5月14日の緊急事態宣言の解除後、受注額や新規入会会員数等は徐々に回復していきましたが、新型コロナウイルスは、第2波（7月下旬から8月中旬がピーク）、そして第3波（12月下旬から1月中旬がピーク）と流行を繰り返し、1月中旬から3月上旬にかけて2度目の緊急事態宣言が福岡県に発令されるなど、まさに新型コロナウイルスへの対応に追われた1年でした。

このような厳しい状況下ではありましたが、シルバー人材センター（以下「センター」という。）においては、手洗いの励行やいわゆる三密を避けての就業の実施などにより就業を継続するとともに、退会者の抑制に尽力していただきました。

この1年間、連合会において実施した事業の主な内容を次のとおり報告します。

- ・ シルバー事業の普及啓発活動については、シルバーフェスティバルなどの多くの人を集めるイベントは開催中止となったが、センターで行っている1会員1人入会活動や地域での啓発に加え、国からの受託事業である高齢者活躍人材確保育成事業（以下「人材確保育成事業」という。）を活用し、テレビ、新聞等のマスメディアによる広報を実施した。また、新たな取組みとしてシニア層が多く利用しているコメダ珈琲店での会員募集案内を記載したマスクケースの配布やヤフーのトップページでのシルバー事業の広告などを行った。
- ・ 一般の高齢者向けのセミナー（7回）や企業向けセミナー（4回）を開催するとともに、介護・家事援助や剪定等の技能講習会（45回）などを実施した。  
※テレビ、新聞、市町村広報紙での会員募集広告を含めた人材確保育成事業での新規入会者は343人
- ・ 安全・適正就業推進事業に関しては、安全・適正就業対策委員会（3回開催）による計画の策定と取組みの検証、安全パトロール（8センター）の実施、安全就業促進大会（11月）の開催などを行った。
- ・ 指導・相談事業については、11センターを訪問して、法人運営・会計や請負等の契約業務、会員拡大の取組み等について、福岡労働局、福岡県及び連合会から助言を行った。
- ・ 役職員研修会、理事長研修会及び監事研修会については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催を中止し、安全・適正就業推進員研修会及び請負・委任に係る業務担当職員研修会は書面開催とし、県からの受託事業である子育てマイスター認定研修は、定員（50人）を半数程度にして実施した。

- ・ 昨年度から策定を開始したシルバー事業推進計画（令和2年度～令和6年度）については、6回の委員会の開催を経て計画案をまとめ、理事会の承認を得たうえで10月に計画を各センターに送付した。
  - ・ 令和2年度の重点事業として取り組んだ女性会員（シルボンヌ）拡大に関する会議では、連合会及びセンターの女性職員による委員会を設置し、現状分析や対策の検討を行い、3月に提言書を会長に提出した。
- このような活動の結果であります。会員数の動向を見ますと、年度始めの最も新規入会が期待できる期間と緊急事態宣言の対象期間が重なったこともあり、5月末現在の会員数は、前年同月比で842人減という状況でした。6月以降、徐々に新規入会者は増加しましたが、第2波、第3波による入会控え等もあり、令和2年度末では、前年度末に比べて808人少ない23,858人となりました（前年度末比3.3%減）。
  - 受注状況を見ると、会員数の動向と同様に年度始めには、就業延人員は、請負・委任及び派遣とも2割前後の減少となりましたが、その後、徐々に回復し、年間では請負・委任で約8%の減、派遣で約7%の減となりました。
  - 安全・適正就業に関しては、請負・委任において、傷害事故120件、賠償事故147件が発生し、前年度比では、傷害事故で17件の減少、賠償事故で2件の減少でした。また、派遣については、傷害事故18件が発生し（賠償事故はなし。）、前年度比では、傷害事故で2件の減少となりました（賠償事故は変わらず。）。

以上、概況ですが、これらの事業運営に当たっては、福岡労働局職業安定部及び福岡県福祉労働部労働局の指導を得ながら実施するとともに、公益社団法人全国シルバー人材センター事業協会（以下「全シ協」という。）と緊密な連携を図りながら、シルバー事業の推進に努めました。

## 第Ⅱ 事業

一 雇用によらない臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係わる就業機会の確保や社会参加活動のための支援（公益目的事業）

〔就業開拓提供等事業〕

連合会は、高齢者の希望や体力・能力に応じ「請負・委任」による就業を県内全域で一体的に推進し組織的に提供するため、センターと強固な連携のもと、協力して地方公共団体、地域の企業、家庭等をサポートする多種多様な仕事について就業開拓に取り組むこととし、活動支援を行った。

（1）受託事業（一般）

雇用によらない請負又は委任による就業の支援については、関係法令に基づき、高齢者の就業の場として相応しい「臨時的かつ短期的」又は「その他軽易な業務」に係わる就業の機会を確保するため、新たな事業の創出や仕事の開拓を行い、受注の促進を図った。

〔主な就業分野〕

屋外作業（剪定、草刈り、草取り、屋外清掃、空き家・墓地管理等）

屋内作業（屋内清掃、施設・駐輪（駐車）場管理、福祉・家事援助サービス、子育て支援、商品梱包作業、環境リサイクル業等）

① 広域需給調整

高齢化の進展と共に地域ニーズや発注者ニーズも多様化し広域的な需給調整の必要が生じている。しかしながら、各センターの作業単価及び作業環境もそれぞれに違うなど、広域受注には諸々の問題がある。派遣では広域受注を行っている職種もあり、請負においても部分的には県内のセンターが対応できる体制を支援した。

② 未設置地域の解消

福岡県及び近隣センターの協力を得て、未設置町村に対し各地域の高齢者が、いつでも、誰でも、どこでも、シルバー事業に参加できるようセンターの設置を促進した。

(2) 受託事業（業務委託）

国及び地方自治体の意向に沿って、一般競争入札等へ参加し、地域高齢者の就業の場の確保に努めるとともに、当該受託事業に関連した会員や地域と一体となつての活動及び子育て等を応援し、地域活性化に役立つ情報の収集及び提供を行った。

(3) 独自事業

高齢者の就業機会の拡大を図るため、各センター独自の創意と工夫により、「臨時的かつ短期的な就業」又は「その他軽易な業務」に係わる地域独特の事業の創出による高齢者の生きがいの充実及び地域活性化に資する事業を支援した。

二 雇用による臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務に係わる就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

県内の高齢者の生きがいの充実と福祉の増進を図り、高齢者の労働能力を活用した地域社会づくりを促進するため、シルバー派遣事業及び職業紹介事業等により提供した。

(1) シルバー派遣事業

「労働者派遣事業の適正な運営の確保及び派遣労働者の保護等に関する法律」に基づき、実施センターと連携・協力して、派遣会員の円滑な就業の促進を図り、臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務の就業の範囲において、派遣労働を希望する高齢者の登録を推奨し、シルバー派遣事業を積極的に実施した。

(2) 職業紹介事業

「臨時的かつ短期的な就業又はその他軽易な業務」に係わる求人・求職を受け、センターを通して就職を希望する高齢者に対して必要な情報の提供・相談・助言等を行い、職業紹介事業を実施した。

(3) 雇用・就業の促進

民間企業、各種団体など的高齢者の雇用や就業についての情報を収集・提供し、高齢者の雇用及び就業の推進を図った。

三 高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するため、普及啓発事業等及び情報の提供、安全・適正就業事業、研修・講習事業、指導・助言等事業、調査研究事業を実施した。（公益目的事業）

## 1 普及啓発事業

センターの基本理念のもと事業の発展と拡充を目指し、センター会員の活動状況等を一般に幅広く広報し、シルバー事業が地域社会において更に理解が深まるよう、普及啓発活動を実施した。

### (1) 広報活動

会員の増強や就業機会の拡大を図るため、県内全域の家庭、企業、公共団体等を対象とした、身近で気軽に利用し相談しやすいコーナーを設置し、その効果を上げるため全センター共通の広報用品を作成し配布した。

### (2) 社会参加活動

連合会は、高齢者の多様な就業・社会参加ニーズに対応した総合的な就労支援センターとして、就業等に関する相談・情報等を収集・提供するとともに、センター会員によるサークル活動等を通してボランティア活動など地域に寄与、貢献する活動を活用した地域環境の整備、子育て支援、学童見守り等、地域に歓迎される活動を促進し、高齢者の社会参加を支援した。

### (3) 地域交流活動

地域の活性化推進グループ等と連携し、地域行事や会議等へ積極的に参加し交流の輪を広げる活動を行った。

## 2 安全・適正就業推進事業

シルバー事業の就業について「安全は全てに優先する」との理念のもと安全・適正就業対策委員会による組織的な活動を行った。

安全就業の啓発を目的に委員による現場パトロールを実施、安全就業の徹底と安全意識徹底を指導・助言した。

適正就業は、ガバナンス（内部統制）及びコンプライアンス（法令遵守）の確立を目指し、高齢法で定める「臨時的かつ短期的」又は「その他軽易な業務」をローテーション就業によるワークシェアリング（仕事の分かち合い）で実施すること等を徹底するため、適正な就業について、研修会等を開催した。また、指導・相談業務等を通して就業の適正化に努めた。

## 3 指導・相談事業

### (1) 法令遵守の業務運営

地域のニーズ及び関係法令等に的確に対応した事業展開及び円滑に事業を実施するために適宜情報の収集・提供を行い指導・相談・助言を行うとともに、知識・企画力の向上を図るための支援を行った。

### (2) 適正な財産運用、専門家による助言・指導

公益事業活動の拡充に努め、地域社会の信頼を得るとともに、事業の拡張を図る

ため、保有する財産等の管理について、公認会計士及び連合会でセンター事業の経理・業務等全般について実地検査を行い、適正な経理処理及び運営上の諸課題等について適切な助言、指導を実施した。また、弁護士による法人運営やセンター業務の相談に関する助言、指導及び社会保険労務士による労務に関する助言、指導を行った。

(3) 就業相談及び入会説明会への支援

地域高齢者及びセンター会員等の来訪、電話等による、就業及び入会等に関する相談の助言等を行った。

(4) 各地域(ブロック)への情報の提供及び相談・指導

各ブロックでセンターが抱える事業運営上の課題や問題点等について連合会職員を派遣し、相談・助言及び指導等を行いシルバー事業の適正な運営を図った。

#### 4 研修・講習等事業

シニア世代に対する社会環境の急激な変化に伴い、自立した運営の重要性の認識と人材の育成を目的とした研修会や講習会を開催した。また、様々な仕事に携われる会員の育成や多様化するシルバー事業に供する事業に対応するよう、高齢者の知恵と技を生かすセミナー、高齢者のサポート等に関する研修会等、センター役職員・会員及び職員や一般高齢者を対象とした研修会を開催した。

(1) 技能講習等事業

一般の高齢者を対象に、雇用及び就業のための技術・技能の習得・向上を目指し講習を行った。

(2) 研修・講習事業

センター役職員や実務担当職員等を対象に運営上の諸課題及び適正な業務・会計処理等について理解と知識の付与を目的に研修・講習会を実施した。

また、福祉・家事援助サービス、子育て支援事業は、「福岡県70歳現役応援センター」（以下「70歳現役応援センター」という。）と連携し、高齢者が行う子育て支援について地域ニーズにマッチするセミナーを開催した。

・全シ協が行う研修会等への参加

・九州ブロックシルバー人材センター連絡協議会が行う研修会等への参加

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催中止

#### 5 調査研究事業

センターを取り巻く社会環境の変化にともない、高齢者の雇用・就業の状況や多様化する発注者ニーズ等の情報を収集しセンター事業の統計・分析に活かし、全国のシルバー事業の好事例等及び社会参加活動等に関する情報を収集し周知を図った。

また、公益社団法人としての運営上の諸課題、法人の維持及び公益事業等について調査研究を行った。

### 第Ⅲ 個別実施事業

#### 1 普及啓発活動

##### (1) 広報活動

新聞・ラジオ・テレビ等のマスコミを活用して、会員の入会促進、仕事の受注、会員活動、派遣事業、研修・講習等の情報を広く広報した。

ア 連合会事業活動の周知徹底を図った。

- ・機関誌「シルバー連合ふくおか」の発行

- ・2月発行 26,000部、県内会員・関係各所に配布

- ・ホームページでの情報提供

- ・オリジナルカレンダーの作成・配布、会員募集マスクケース制作・配布

- ・福岡県内の退職自衛官向けフリーマガジン「タイユープラス」広告掲載

イ 全国シルバー人材センター事業普及啓発促進月間を活用し広報活動を実施した。

- ・連合会長・センター理事長連名による行政に対する支援要請の作成・配付

- ・シルバークフェスティバルの開催（10月）

- ※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、開催中止

ウ 福岡県高齢者子育て支援推進事業の普及啓発活動を推進した。

- ・70歳現役応援センターと連携し、シルバー事業及び「福岡県高齢者子育て支援推進事業」（以下「子育てマイスター事業」という。）を幅広い層へ広報し、ボランティア活動や就職及び就業等社会参加の場を開拓した。

- ・子育てマイスター認定研修会開催案内等のチラシの作成・配布

- ・5,000部作成、各センター及び市町村担当課、関係機関等に配布

- ・子育てマイスター事業の関係機関を訪問、周知・広報を行った。

- 事業協力依頼、活動先開拓（各市町村関係機関、保育施設等）247か所訪問

- ・子育てマイスター通信（報告書）を2,500部作成、各関連団体等へ配布

エ 人材確保育成事業の普及啓発活動を推進した。

- ・会員拡大や就業機会の開拓のために実施する人材確保育成事業に係るリーフレット・チラシ等の作成・配布及び新聞、テレビ等による広報を行った。

- ・セミナー・就業体験・技能講習開催案内リーフレット等の作成・配布

- 啓発リーフレット 20,000枚 チラシ 156,000枚

- ポスター 1,040枚

- ハローワーク、各センター、各市町村等関係機関へ配布

- ・会員募集・セミナー案内テレビCM、新聞広告、市町村・センター広報誌、ホームページによる周知・広報

オ 公益活動に係る寄附金募集の啓発を行った。

カ センター入会等促進のためメディアやイベントを活用した広報活動を実施した。

- ・ラジオCMの定期放送実施

- （月～金朝6時前後の時間帯：KBC10月から3か月）

- ・年末年始テレビCMの実施（12月30日～1月3日：FBS16本）

- ・チラシビジョン（パソコン、スマートフォンにてヤフーのトップページでの動画配信及びテレビCM（RKB））による広報を実施（1月18日～31日）

## (2) 社会参加活動の推進

- ア 各地域でのボランティア活動を推進した。
- イ 子育てマイスターのグループ化を促進し、会員や子育てマイスターの知恵と経験を生かした子育て支援活動を推進した。
- ウ 子育てマイスターの更なる活躍を目指し、活動先の開拓やマッチングの強化を図った。
- エ 各自治体及び地域高齢者団体等が行うセミナーや講習・研修会などを情報提供し、地域で取組む社会参加活動を支援した。

## (3) 地域交流活動

- ア 市町村、社会福祉協議会、ファミリーサポートセンター、保育所、NPO等と連携を図り、県内全地域へ交流活動の輪を広げた。
- イ 県の商工会、中小企業団体中央会等と連携を深め、就業の場を拡大した。

## (4) 独自事業

センター事業の活性化を目指し、会員の豊富な経験・知識を活用し、地域の特性を生かした事業の創出を支援した。

- ① 実施センターへの助言・相談等の支援
- ② 他都道府県のセンターの独自事業について情報の収集・提供
- ③ 県内センターが実施している地域の特性を生かした事業の紹介

## 2 安全・適正就業推進事業

### (1) 安全就業の周知・徹底

「安全は全てに優先する」との理念のもと就業会員の安全意識の高揚を図り、事故のない安全な就業の徹底を目指し、現場パトロール等を強化した。

- ① 安全・適正就業対策委員会の開催 (年間3回)
  - ・安全就業基本計画、年間実施計画の策定、事故分析、改善策の検討
  - 4月16日(木) 書面決議
  - 10月6日(火) 開催 県中小企業振興センター
  - 3月10日(水) 開催 //
- ② 安全・適正就業パトロールの実施、改善指導
  - ・計画的なセンター訪問によるパトロール活動の実施 (年間8回)
  - 7月22日(水) 那珂川市SC
  - 8月5日(水) 遠賀町SC
  - 8月26日(水) 田川地区SC
  - 9月15日(火) 新宮町SC
  - 9月30日(水) みやこ町SC
  - 10月14日(水) 大木町SC
  - 10月23日(金) 大野城市SC
  - 11月11日(水) 朝倉市SC
  - ・重大事故発生時の緊急パトロール、現場検証の実施 (発生時、適時)
  - 5月15日(金) 柳川市SC 重篤事故現場調査

③ 安全就業促進大会の開催 (年間1回)

7月 8日(水)を延期

11月 4日(水)福岡市立東市民センター 出席者 161人

※令和2年度安全標語入賞作品5点の表彰

(最優秀賞 【安全は心のゆとりと準備から】志免町SC 大塚希美子会員)

※令和2年度安全就業優良センター9センターの表彰

(筑紫野市SC、志免町SC、飯塚市SC、直方市SC、みやこ町SC  
豊前・上毛SC、小郡大刀洗広域SC、筑前町SC、うきは市SC)

④ 安全便りの発行(令和2年5月開始)

(2) 適正就業の徹底

① 安全・適正就業推進員研修会(書面開催)

2月26日(金)

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面開催とした。

② 適正就業の相談、助言、指導(適時実施)

・来訪、個別訪問、電話等による相談・助言、指導の実施

③ 県内各ブロックの安全・適正就業に関する研修・講習等の支援

・各ブロックの要請に基づき、研修、講習会等を支援した。

12月 2日(水) 柳川市SC草刈機安全取扱研修会講師 38人

3 シルバー派遣事業の実施

事業実績(4月~3月末)

就業実人員	就業延人員	契約金額
3,004人	264,147人日	1,235,525,589円

(1) シルバー派遣事業の積極的な推進

① シルバー派遣事業に関する情報の収集及び提供

② センターに対し必要な指導・相談及び講習開催案内

全シ協等が実施する派遣元責任者講習の受講促進

③ 就業上の諸問題について、労働局の支援のもと相談・指導等を行った。

(2) シルバー派遣事業運営体制の構築・強化

① 派遣事業実務担当者会議

4グループに分けて開催 県中小企業振興センター

(年次有給休暇、派遣業務における留意点等)

7月28日(火) 午前 10SC 15人

午後 9SC 13人

7月29日(水) 午前 10SC 13人

午後 8SC 10人

② 派遣事業実施事務所個別訪問の実施 (年間4SC)

3月 8日(月) 朝倉市SC、飯塚市SC

3月22日(月) 宮若・小竹SC、宗像市SC



新型コロナウイルスの感染拡大防止対策のため訪問を自粛、10SCの予定を4SCに減らし実施した。

(3) 雇用就業の促進

- ① 労働局等主催の会議等の情報の収集、提供
- ② 地域高齢者対象講習会の実施

(4) 法第39条に基づく業務拡大の促進

法第39条に基づく業務拡大についてセンターの意向を踏まえ拡大を図った。

北九州市実施 業種：58 飲食料品小売業 職種：E-39 飲食物調理の職業  
業務の内容：調理補助業務 就業実人員：1人

(5) 産業保健活動（安全衛生・健康管理）等の対策

労働安全衛生法に基づく産業医について労働局と協議し必要な配置を行った。

- ・派遣実施事務所と業務連携し、安全衛生管理体制を整備した。

産業医の配置と衛生委員会の設置（福岡市・北九州市）

#### 4 職業紹介事業の実施

(1) 関係行政機関との情報の交換

行政機関の情報収集及び情報交換を行った。

(2) 各センターへの必要な指導・相談

有料職業紹介事業への理解と適正な運営について、高齢者の雇用・就業などに関する指導・相談等を行った。

常用就職件数	臨時就職件数	日雇就職延数	就業実人員	契約金額
4件	0人日	0人日	4人	115,845円

(実施事務所；福岡市、春日市、筑紫野市)

#### 5 指導・相談事業

(1) 指導・相談業務の実施

事業運営上の諸課題、適正な会計処理等について適切な指導・助言等を行った。

- ① センター事業の進捗状況等について情報収集・提供
- ② 専門家（公認会計士・弁護士・社会保険労務士）と業務提携し、センターの法人運営・労務管理・会計・業務等の処理について相談業務を実施し、指導した。
- ③ 公認会計士・福岡労働局・福岡県・連合会合同の会計・業務指導・相談の実施
- ④ 全シ協指導員（連合会事務局長兼任）の個別指導の実施

③・④の個別訪問、合同実施（年間11SC）

9月8日（火）	嘉麻・桂川広域SC	センター会議室
9月24日（木）	粕屋町SC	〃
10月13日（火）	志免町SC	〃
10月22日（木）	筑前町SC	〃
10月27日（火）	豊前・上毛SC	〃
10月29日（木）	北九州市SC	〃

11月17日(火)	みやこ町SC	センター会議室
11月27日(金)	遠賀町SC	〃
12月8日(火)	宗像市SC	〃
12月11日(金)	小郡大刀洗広域SC	〃
1月7日(木)	福津市SC	〃

※1月実施予定の大木町SC・うきは市SCは令和3年度に延期した。

⑤ 適正な事業運営についての相談・助言、指導

8月28日(金)	篠栗町SC	センター会議室
----------	-------	---------

⑥ 「職場等における悩みごと相談窓口」の設置

(2) 就業相談及び入会説明会への支援

ア センター会員及び一般高齢者を対象に来訪や電話等による就業、就職及び社会参加活動等について随時、相談・助言を行った。

イ 70歳現役応援センター内に「センター相談窓口」及び「ふくおか子育てマイスター相談窓口」を設置、雇用・就業相談員及び子育てマイスター活動支援員を配置し、来訪者及び電話等での相談に対応、研修会の案内、受講申込み説明、受付等を行った。

(3) 各地域(ブロック)への情報の提供及び相談・指導

県内各ブロック協議会へ研修活動経費の支援、シルバー事業の適正な運営を図るため、連合会職員を講師派遣し、相談・助言及び指導等を実施した。

・県内4ブロック協議会の研修活動等に対する支援

7月22日(水)	筑後ブロック事務局長会議	
	柳川市SC会議室	12人
2月5日(金)	筑後ブロック会計担当職員研修会	
	サザンクス筑後	19人
2月10日(水)	京築地区会計担当職員研修会	
	行橋市図書館(リブリオ行橋)	7人
2月12日(金)	筑豊ブロック経理担当職員研修会	
	直方市SC会議室	7人

## 6 未設置町村へのセンター設置の推進

県内未設置6町村に対する高齢者の就業活動促進のため、各町村を訪問し、センターの設置を要請した。

7月9日(木)	鞍手町訪問
7月15日(水)	吉富町訪問
9月14日(月)	水巻町訪問
2月10日(水)	芦屋町訪問

- ・県内及び他都道府県のセンターの活動状況の提供
- ・センター設置のメリットの説明

## 7 研修・講習等事業

### (1) セミナー・就業体験・技能講習等事業

厚生労働省の委託事業である人材確保育成事業を受託し、高齢者や企業に対してセンターを積極的に周知・広報するとともに、実際の就業体験を通じて高齢者、企業双方のセンターに対する理解を深めること、高齢者がセンターに興味を持ち自信を持って就業できるよう必要な技能講習を行うことにより、センターの新規会員及び新たにセンターを活用する企業の増加を図った。

#### ア 事前会議の実施

センターを訪問し、事業の趣旨や事業の目的等を説明した。

#### イ セミナー、就業体験、技能講習及び会員募集に関する周知・広報

新聞、テレビ、市町村広報誌、イベント等による周知・広報を実施した。

##### ① 新聞、雑誌による周知広報

読売新聞、西日本新聞、朝日新聞、毎日新聞（半5段、半4段、半3段、半2段）、情報誌（1回）を媒体として技能講習会、就業体験、セミナーの案内広告を掲載した。また、会員募集広告を新聞4紙に掲載した（全5段）。

##### ② テレビによる周知・広報

会員募集、セミナーについて、15秒CMをKBC及びTVQでのテレビ放送とソラリアビジョンを媒体にした周知を行い、パブリシティ活動としてKBCテレビの「FOR YOU」（60秒9月16日放送）、「アサデス」（30秒：10月6日放送）及びTVQ「情報スタイル」（90秒：1月29日放送）において会員募集を行った。

##### ③ 市町村広報誌による周知・広報

技能講習、就業体験、セミナーについて、開催地の市町村広報誌に掲載した。

##### ④ イベント等による周知

しごとボランティア合同説明会開催（70歳現役応援センターと共催）

※ ①～④の広報活動による新規入会者数 232人

#### ウ 説明会

・高齢者向けセミナー	(計7回)
うち女性を対象にしたもの3回	
セミナー（7回（女性対象3回））	参加者数 229(132)人
新規入会者数	11(10)人
・企業向けセミナー	(4回)
久留米市、飯塚市、北九州市及び福岡市で実施	参加企業数42社

#### エ 就業体験

・高齢者向け、企業向け	(計9回)
高齢者向け（6回）	受講者数 69人
新規入会者数	8人
企業向け（3回）	参加者数 48人
新規入会者数	8人

オ 技能講習

- ・講習科目 (11科目)  
子育て支援、介護家事援助、ハウスクリーニング、店舗スタッフ、  
マンション管理、剪定・チェンソー、刈払機、調理補助、農業支援 等
- ・講習回数 (計45回)
- ・講習定員 (計645人)

講習名	予定回数 (回)	開催数 (回)	受講者数 (人)	新規入会者数 (人)
介護・家事援助	7	7	64	13
放課後児童クラブ	1	1	19	3
刈払機	3	3	38	6
子育て支援	3	3	49	2
整理収納アドバイザー2級認定	5	5	85	4
剪定・チェンソー	7	7	123	18
調理補助	6	6	57	5
店舗スタッフ	3	3	31	6
農業支援	1	1	9	5
ハウスクリーニング	6	6	84	6
マンション管理	3	6	53	16
合計	45	45	612	84

※ア～オの新規入会者数

合計 343人

(2) 研修・講習事業

ア センター役職員や実務担当職員を対象に、適正なシルバー事業の実施について情報を提供するとともに、会員の就業機会拡大、職員の資質向上を目指して研修・講習会を実施した。

① 役職員研修会 ② 理事長研修会 ③ 監事研修会

※ ①・②・③については、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催中止

④ 職員研修会 (書面開催)

2月16日 (火) 業務担当職員研修会

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため書面開催とした。

イ 地域ニーズにマッチした活動である福祉・家事援助サービス、子育て支援事業を推進することで地域の活性化に寄与した。また、県から「子育てマイスター事業」及び「女性アスリート託児サポート事業」を受託し、地域高齢者の子育て支援活動の推進およびシルバー事業の活性化を図った。

① ふくおか子育てマイスター認定研修等の実施

・ふくおか子育てマイスター認定研修会の開催 (年間4回)

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、定員を50人から半数程度に減らして実施した。(各回全7日間で実施)

福岡会場 ふくふくプラザ 10月 7日～10月30日 受講者25人

久留米会場 久留米シティプラザ 11月11日～11月27日 受講者11人  
 飯塚会場 イヅカコミュニティセンター 12月1日～12月22日 受講者15人  
 北九州会場 コムシティ 1月7日～3月16日 受講者9人  
 ※北九州会場については、県の指示により新型コロナウイルスの感染拡大防止のため全7日のうち4日について開催を3月に延期し実施した。

・フォローアップ研修会の開催 (年間8回)

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、すべて開催中止

② 担当職員会議の開催 (年間4回)

3グループに分けて開催、新総合事業、子育て・福祉家事援助サービス事業に関する現状報告、意見交換等を行った。

第1グループ 3月12日(金) 中小企業振興センター 11人

第2グループ 3月15日(月) 中小企業振興センター 14人

第3グループ 3月15日(月) 中小企業振興センター 12人

③ 担当職員研修会の開催 (年間1回)

12月11日、14日、15日全シ協主催福祉・家事援助サービス担当者会議(オンラインによる視聴型会議)へ振替 参加者34人

④ 会員研修会の開催 (年間1回)

※新型コロナウイルスの感染拡大防止のため開催中止

⑤ センター訪問による指導・相談・研修事業の実施

筑紫野市SC 子育て支援事業研修会講師 7月9日・13日 10人

筑紫野市SC 子育て支援事業研修会講師 12月15日・16日 7人

福岡市SC 子育て支援事業研修会講師 1月26日 28人

⑥ 未就学児を育成中の女性強化指定選手(女性アスリート)の託児サポートに係わる連絡・調整を行った。(託児実績はなし。)

## 8 調査研究事業

(1) 人材確保育成事業におけるアンケートの実施

人材確保育成事業で実施する企業向けセミナーや就業体験等において、参加企業や参加者に対しアンケート調査を行った。また、結果を集計・分析し、会員拡大、就業機会開拓等に活用するとともにセンターに対しても情報提供を行った。

(2) 高齢者の雇用・就業等情報の収集・分析及び提供

福岡労働局職業安定部職業対策課、ハローワーク及び県主管課等と連携し、求人情報の収集・分析を行い、センター及び関係機関へ情報提供を行った。

(3) 業務年報の作成及び月次統計の集計・分析、結果の情報提供

シルバー事業の総括及び県内の人口構造及び高齢者の状況や会員の状況・受注件数・事業実績等について調査、集計し業務年報を作成、各自治体及び関係機関・団体等へ配布した。

(4) 女性会員拡大を目指した活動の実施

① 事例分析やアンケート調査の実施

女性会員拡大に関する取組みについて、今後のイメージアップや会員拡大に繋

げるためのアンケート調査をセンター及び女性会員を対象に実施し、結果を分析した。

② 女性会員拡大のための委員会、プロジェクトチームの設置

各センター、連合会の女性職員を中心に委員会及びプロジェクトチームを設置し、女性に関心を持つ事象や魅力ある取組みについての検討を行った。

・女性会員（シルボンヌ）拡大に関する会議

委員はブロック枠6人、センター枠6人、連合会事務局枠1人により構成  
計13人

第1回 8月27日（木） 県中小企業振興センター

委嘱状交付、要綱の説明、女性会員の状況、女性会員増のための取組み事例等

第2回 12月23日（水） 県中小企業振興センター

プロジェクトチーム会議内容報告、提言素案の検討等

・プロジェクトチーム会議

委員は女性会員（シルボンヌ）拡大に関する会議の委員7人により構成

第1回 9月28日（月） 県中小企業振興センター

課題の整理、現状把握調査の内容、女性会員拡大のための効果的な対策等

第2回 11月30日（月） 県中小企業振興センター

課題や対策等のまとめ、提言へ向けた意見の集約、内容の検討等

第3回 2月15日（月） 県中小企業振興センター

提言に関する最終検討とまとめ

※3月1日（月）委員長、座長から会長へ提言書を提出した。

(5) 子育てマイスターの活動調査の実施、結果分析、評価、事業効果の検証

① 子育てマイスター新認定者に対するアンケート調査の実施

② 子育てマイスターに対する活動状況調査の実施

子育てマイスター登録者約1,100人へ郵送及び電話にて調査を実施

(6) シルバー事業推進計画策定委員会の設置・開催

総合的な事業運営の指針として中期計画を策定するため、連合会及びセンターで協議した。

委員は各ブロック2人及び連合会役職員により構成 計11人

(令和元年度から継続)

第5回 6月16日（火） 県中小企業振興センター

シルバー事業推進計画のたたき台について

第6回 9月18日（金） 県中小企業振興センター

シルバー事業推進計画（案）について

令和2年10月9日の連合会第2回理事会で承認を得て、各センターに策定した計画を送付した。